

家計調査報告（平成13年平均）

家計調査は、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにし、様々な施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和21年から総務省が都道府県を通じて毎月実施している統計調査です。

この調査は、全国の二人以上の世帯と単身世帯（学生を除く）約4,300万世帯（平成7年国勢調査）の中から168市町村約9,000世帯の協力を得て実施しており、本県では、高知市において104世帯、大正町において13世帯が調査対象となっています。

高知市の家計収支の概要（二人以上の世帯）

高知市の家計収支は単身世帯を除く二人以上の世帯、96世帯について集計されたものです。

1 全世帯の家計

(1) 平成13年の高知市の全世帯（平均世帯人員2.94人、平均有業人員1.32人、世帯主の平均年齢53.4歳）の消費支出は、1世帯当たり1か月平均298,765円で、前年に比べ名目9.4%、実質8.7%の大幅な減少となり、平成10年以降4年連続の減少となりました。

消費支出の内訳をみると、実質で教育（-30.8%）、保健医療（-13.7%）、住居（-11.7%）、被服及び履物（-11.4%）、交通・通信（-9.5%）、光熱・水道（-6.4%）が大幅な減少となったほか、家具・家事用品（-4.6%）、食料（-3.6%）も減少となりました。

一方、教養娯楽が実質7.2%の大幅な増加となりました。「その他の消費支出」は、名目で13.6%の大幅な減少となりました。

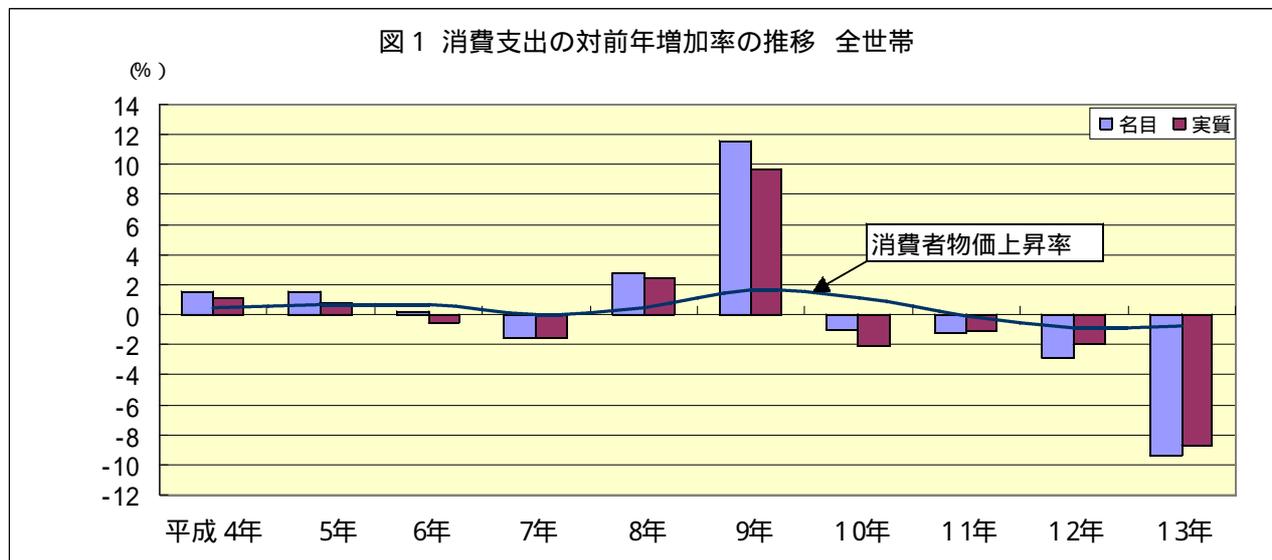
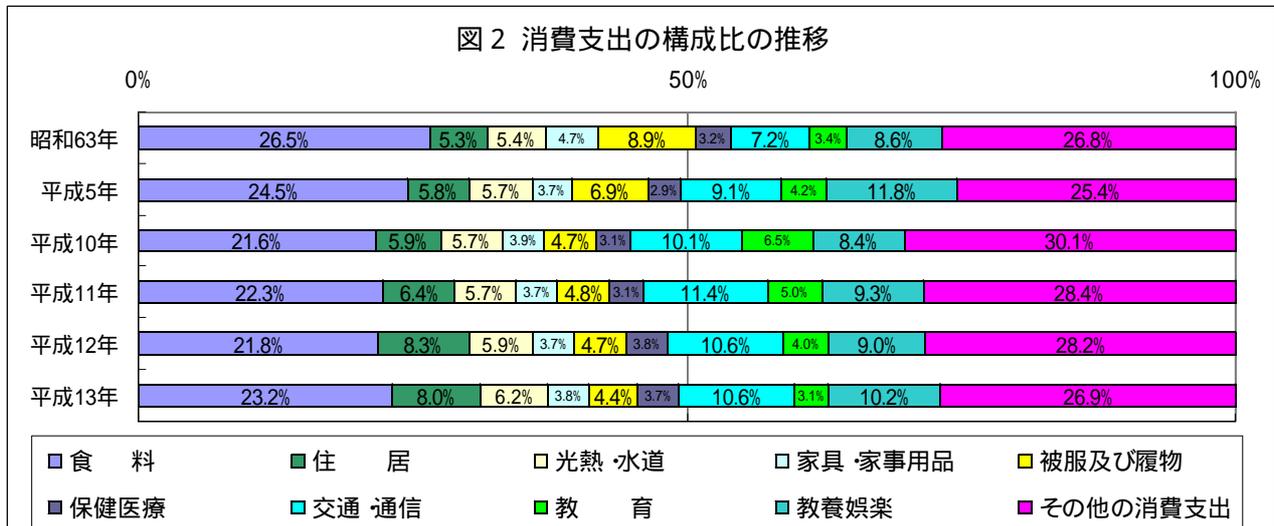


表1 10大費目の支出と動向

	(単位:円)										
	消費支出	食料	住居	光熱水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	その他の消費支出
昭和63年	261,418	69,256	13,910	14,137	12,168	23,278	8,239	18,871	8,984	22,519	70,058
平成5年	306,820	75,048	17,700	17,412	11,256	21,296	8,821	28,061	12,974	36,223	78,028
平成10年	343,936	74,178	20,449	19,492	13,248	16,257	10,724	34,857	22,417	28,774	103,540
平成11年	339,777	75,819	21,804	19,212	12,715	16,312	10,418	38,571	16,873	31,591	96,461
平成12年	329,878	72,006	27,308	19,469	12,200	15,632	12,429	34,935	13,149	29,591	93,160
平成13年	298,765	69,212	24,019	18,381	11,275	13,206	10,916	31,620	9,269	30,410	80,457

(2) 平成13年の消費支出の費目別構成比をみると、食料の占める割合（エンゲル係数）は、前年に比べ1.4ポイント上昇して23.2%となりました。また、光熱・水道（6.2%）、家具・家事用品（3.8%）、教養娯楽（10.2%）が、前年に比べ上昇しています。一方、住居（8.0%）、被服及び履物（4.4%）、保健医療（3.7%）、教育（3.1%）、交際費などの「その他の消費支出」（26.9%）が前年に比べ低下しています。



2 勤労者世帯の家計

(1) 実収入

平成13年の高知市の勤労者世帯（平均世帯人員3.27人、平均有業人員1.57人、世帯主の平均年齢42.2歳）の実収入は、1世帯当たり1か月平均615,224円で、前年に比べ名目11.4%、実質12.3%の増加となりました。

実収入の中の勤め先収入のうち世帯主収入は442,648円で、前年に比べ実質増加し、世帯主の配偶者の収入（主として妻）は63,961円で、前年に比べ実質減少していますが、全国平均52,949円と比べると約1.2倍になっています。

表2 勤労者世帯の実収入の推移

(単位:円)

	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	全 国
実 収 入	627,132	649,120	552,280	615,224	551,160
経 常 収 入	603,329	633,915	536,037	551,256	540,431
勤 め 先 収 入	563,920	596,532	505,862	521,010	514,328
世 帯 主 収 入	433,324	485,107	417,476	442,648	449,310
世帯主の配偶者の収入	105,149	80,241	69,659	63,961	52,949
他 の 世 帯 員 収 入	25,447	31,184	18,726	14,401	12,070
事 業 ・ 内 職 収 入	2,119	5,024	2,147	5,210	4,322
他 の 経 常 収 入	37,290	32,358	28,028	25,035	21,780
特 別 収 入	23,803	15,205	16,243	63,968	10,730

(2) 可処分所得

可処分所得（いわゆる手取り収入）は 525,864 円で、前年に比べて名目 12.0 %、実質 12.9 %の増加となりました。

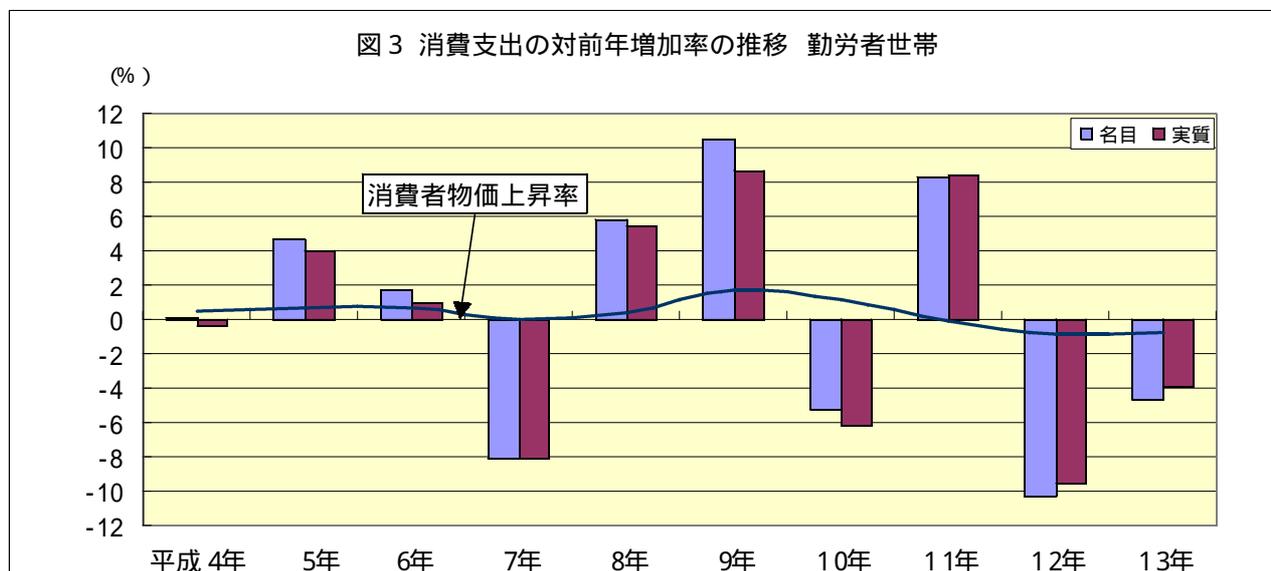
なお、非消費支出（税金や社会保険料など消費者の自由にならない支出）は 89,360 円で、前年に比べ名目で 8.0 %の増加となりました。

(3) 消費支出

平成 13 年の高知市の勤労者世帯の消費支出は 338,271 円で、前年に比べ名目 4.7 %、実質 3.9 %の減少となりました。

消費支出の内訳をみると、食料、光熱・水道、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育が前年に比べ実質減少となりました。一方、住居、家具・家事用品、教養娯楽が前年に比べ実質増加となりました。「その他の消費支出」は、名目で 8.8 %の減少となりました。

また、平均消費性向（可処分所得に対する消費支出の割合）は 64.3 %で、前年（75.6 %）を 11.3 ポイント下回っています。



都道府県庁所在市別ランキングでみる高知市の消費の特徴

総務省がこのほどまとめた「家計調査にみる品目別支出金額及び購入数量の都道府県庁所在市別ランキング（平成 13 年）」の中から、高知市の消費の特徴をみてみましょう。

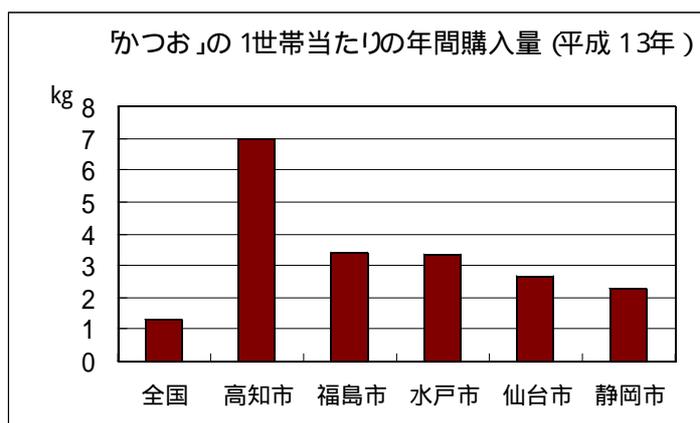
(1) 「かつお」の消費量は、全国平均の約 5.3 倍

高知県の魚 に制定されている「かつお」の 1 世帯当たり年間購入量は 6.994 kg で、全国平均 1.324 kg の約 5.3 倍で、昭和 51 年から連続全国 1 位。また、1 世帯当たり年間購入額も全国平均 2,219 円に対し 13,875 円で、同じく全国 1 位となっています。

他の魚介類では、「しらす干し」、「干しいわし」が上位にランキングされているほか、「揚げかまぼこ（高知でいう天ぷら）」、「ちくわ」、「かつお節・削り節」も多く消費されています。

「かつお」年間購入量 (kg) - 全世帯 -

- 平成 13 年
 全 国 (1.324)
 1 位 高知市 (6.994)
 2 位 福島市 (3.418)
 3 位 水戸市 (3.359)
 4 位 仙台市 (2.645)
 5 位 静岡市 (2.268)



家計調査にみる品目別購入額のランキング (平成 13 年)

区 分	支出金額の多い品目	支出金額の少ない品目
食 料	かつお (1 位)	中華めん (4 9 位)
	しらす干し (2 位)	さけ (4 9 位)
	干しいわし (1 位)	たらこ (4 7 位)
	揚げかまぼこ (4 位)	豚肉 (4 7 位)
	ちくわ (4 位)	ハム (4 5 位)
	かつお節・削り節 (3 位)	ベーコン (4 8 位)
	はくさい漬け (1 位)	牛乳 (4 6 位)
	他の柑きつ類 (1 位)	チーズ (4 8 位)
	つゆ・たれ (2 位)	にんじん (4 7 位)
	主食的調理食品 (1 位)	キャベツ (4 5 位)
	乳酸菌飲料 (1 位)	柿 (4 6 位)
	輸入ウィスキー (2 位)	グレープフルーツ (4 9 位)
	発泡酒 (1 位)	緑茶 (茶葉) (4 7 位)
	飲酒代 (1 位)	しゅうまい (4 8 位)
	被 服 及 び 履 物	ブラウス (1 位)
子供用寝巻き (4 位)		男子用洋服 (4 8 位)
理美容サービス・ 理美容用品	美容院セット代 (1 位)	医薬品 (4 9 位)
	パーマメント代 (4 位)	栄養剤 (4 6 位)
	化粧クリーム (1 位)	コンタクトレンズ (4 6 位)
	化粧水 (1 位)	
そ の 他	エアコンディショナー (2 位)	切り花 (4 7 位)
	移動電話通信料 (4 位)	手芸・工芸材料 (4 6 位)
	保育所費用 (3 位)	ハンドバック (4 6 位)
	たばこ (4 位)	
	殺虫・防虫剤 (1 位)	

() 内は、都道府県庁所在地 (4 7 区市) と、北九州市・川崎市をあわせた 4 9 区市の中での高知市の順位